

① 防災教育

- 大洲市教育委員会を通じ、大洲市と合同で市内の小学校に出向き、防災教育をに実施。
- 大洲市危機管理課や大洲市消防団も講師となり、座学・活動体験を実施。

【大洲市】

【大洲市消防団】



【国土交通省】

防災教育教材



② 演劇による防災学習（洪水版リスクウォッチ）

- 官民学（国交省、大洲市消防団、学校）連携して、防災教育の内容を演劇形式でわかりやすく伝える取組。



③ コミュニティタイムラインの作成

- 大洲市新谷地区をモデル地区とし、作成の手引きを用いてコミュニティタイムラインを作成。

【ワークショップの様子】

コミュニティタイムライン作成の手引き



新谷地区タイムライン実施内容

R4新谷地区
タイムライン
作成

流域・自治体（多機関連携）タイムライン



防災上の課題・要望

- ・住民への声かけがあるため、避難情報を早くだしてほしい
- ・安全な避難所が少ない

防災対応の支援 住民へのお願い

- ・早めに避難情報を発令します（空振りも了承ください）
- ・垂直避難や民間施設への避難を含め地域で検討してください

コミュニティタイムライン



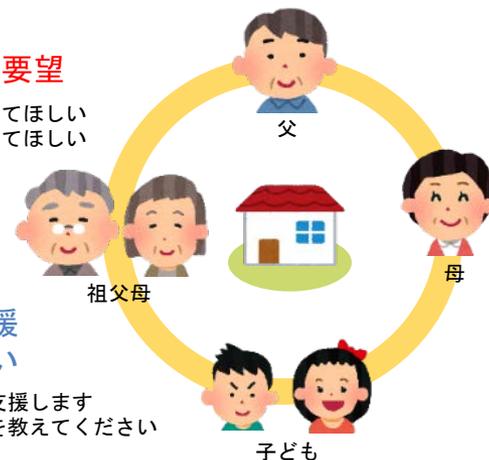
防災上の課題・要望

- ・祖父母の避難を手伝ってほしい
- ・道路の冠水状況を教えてほしい

防災対応の支援 住民へのお願い

- ・地域で協力して避難支援します
- ・自宅周辺の道路状況を教えてください

家族のタイムライン



災害時に住民一人ひとりが安全を確保できるよう、家族、親戚、隣近所の防災行動や避難支援体制を計画する。

- ・ いつどこへ避難する？
- ・ 高齢者等の災害時要支援者の避難は誰が支援する？
- ・ 災害時の連絡方法は？
- ・ 災害に備え準備する物は？

災害時に円滑な判断・対応ができるよう、機関連携による自治体の支援方策を検討した上で、具体的な防災行動を計画する。

- ・ 避難情報発令の基準・タイミングは？
- ・ 自治体や関係機関の連携内容・情報共有は？
- ・ 住民への情報提供・避難支援は？

住民が安全に避難できるよう、地域の防災上の現状や課題を踏まえ、コミュニティの対応方針や避難ルールを計画する。

- ・ 自治会長や班長の役割は？
- ・ 安全な避難場所・施設は？
- ・ 住民が避難開始を判断する情報や目安は？
- ・ 住民に求める行動は？（避難状況の報告など）

新谷地区タイムライン実施内容

■ コミュニティタイムライン作成の手引きの作成

コミュニティタイムラインを作成するにあたり必要な知識や情報、作成工程、活用方法などをまとめた「コミュニティタイムライン作成の手引き」を作成。

コミュニティタイムライン作成の手引きの特徴



藍川流域（水防災）緊急対応タイムライン
コミュニティタイムライン作成の手引き
令和4年11月



3の1 防災行動や避難先を記入する

総合的に確認する
これまで話し合いで決めた内容を、コミュニティタイムラインにまとめます。まとめるにあたり、状況・防災行動・避難先では確実であるか、防災行動の開始から完了まで時間的に無理がないかなど、総合的に防災行動を確認しながら行いましょう。

① ② ③ ④

① いつ：タイムラインステージ①状況（地震や噴発等）
防災対応を区分化したタイムラインステージを示しています。ステージ区分は、藍川流域で作成している自治体タイムラインに合わせています。

② 誰が：自治体/自治会・自主防災会/住民
地域の役割・立場を示しています。地域の現状に応じて、整理しましょう。

③ 何を：防災行動/避難先/移動手段
災害時にそれぞれがどの立場・役割のなかのどのような対応を行うかを、具体的な防災行動と避難先、移動手段を記入します。

④ コミュニティタイムラインの作成日
自治体タイムラインを作成した日付を記入します。タイムラインを改訂した場合は、日付を修正しましょう。

21

■ 住民防災ワークショップの開催

11月21日（月）・12月21日（水）・1月23日（月）に大洲市新谷地区を対象とした住民防災ワークショップ（勉強会）を開催。

■ 新谷地区タイムラインの作成

住民防災ワークショップでの結果を踏まえ、新谷地区タイムラインを作成。

■ 今後の展開

コミュニティタイムラインの手引きを活用して、コミュニティタイムラインを他の地域へ展開。防災教育を通じてマイ・タイムラインを展開。



3 話し合いの様子



グループワークの結果